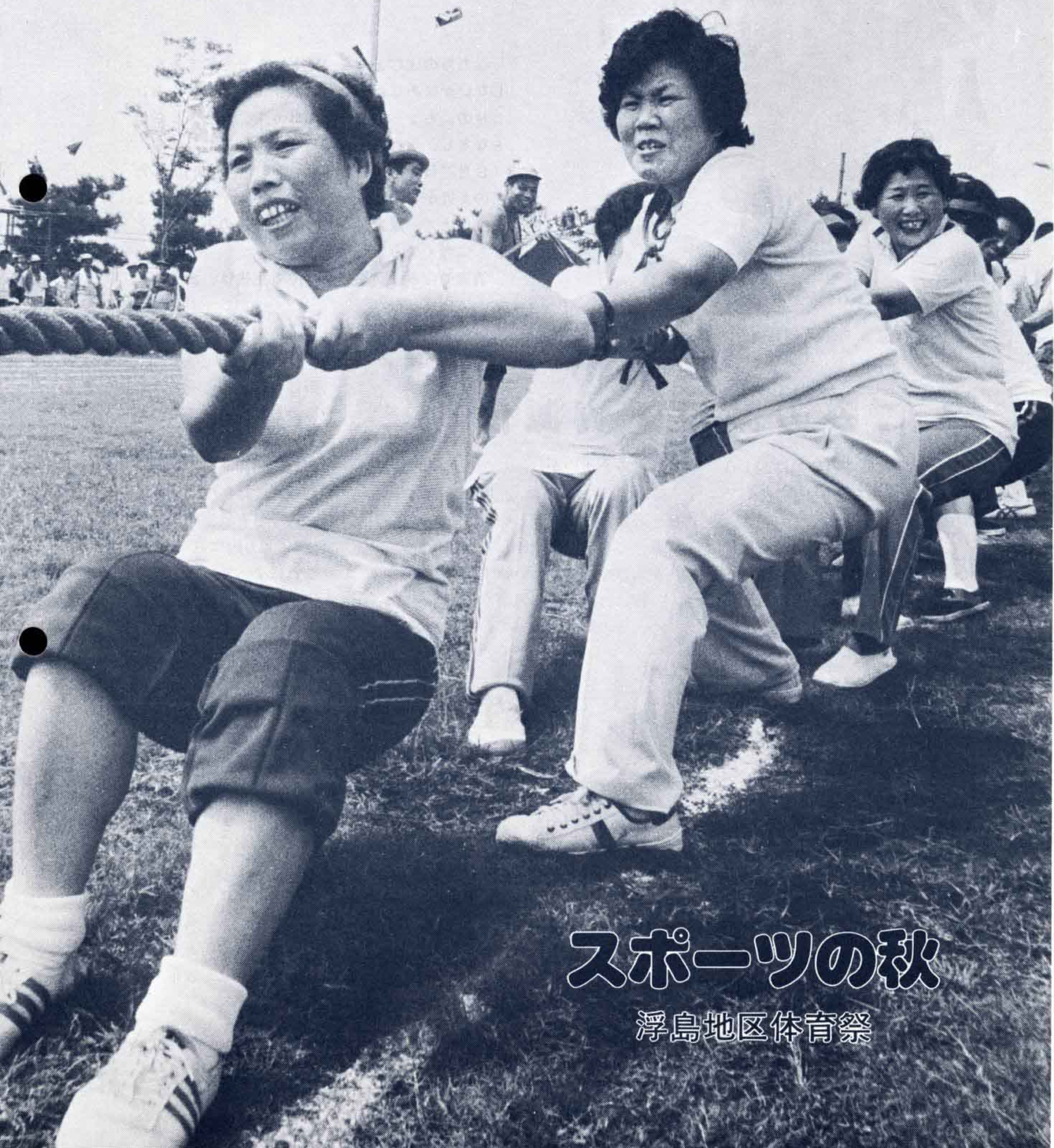


広報 **ふじ**

58.9.25

No.373



スポーツの秋

浮島地区体育祭



あなたです！ きれいなまち

私たちの住むまちを、きれいなまちにするか、しないかはあなたの心掛け次第です。市民一人ひとりの、ちょっとした気くばりで、美しいまちにもなるし、汚れた住みにくいまちにもなります。

9月21日から27日までは「環境衛生週間」。私たちの身近かな、ごみ・家庭排水・空かん・たばこの投げ捨て、衛生害虫について市民のみなさんとともに考えてみましょう。

清潔で住みよいまちをつくる主役は、あなたです。

ごみの減量・資源化

市内で出る家庭ごみの量は、1日約140^ト、一人あたり700^g、年間では250^トにもなります。

これに対して、ごみの処理費用は昭和57年度が8億6,000万円を要し、一世帯分のごみを処理するために年間1万4,500円を費やしています。

ごみを速やかに、しかも衛生的に処理するためには、高度な処理技術を必要としますが、やはりなによりも、ごみの適切な出し方、減量努力が大きくものをいいます。

特に、夏場のごみは水分が多いため、その処理に困っています。

市は今後、生ごみの堆肥化バケツを推奨して、可燃ごみの減量をはかる予定です。

また、昭和56年から始めたごみの分別収集では年間、3,600^トのかん・びん類など有価物が回収され、売上げは2,000万円に迫りました。

これによって埋立される不燃ごみも半減し、埋立地の長期利用に効果をあげています。

衛生害虫の駆除を

ネズミ、カ、ハエなど衛生害虫の害なんて、大したことはないと思うかもしれません。

確かに最近では、カ、ハエなどは私たちの身の回りから急速に減っています。

しかし、油断は禁物。生活様式の変化に伴い、これら衛生害虫の生息形態も変化しているのです。

例えば、ゴキブリやユスリカなどは、冬でも暖房の影響で発生するようになりましたし、意外なことにシラミやノミ、イエダニといった害虫は年ごとに増えているのです。

こうしたことから駆除の考え方も伝染病予防の観点から、不快害虫の駆除へと重点が移りつつあり、新たな対応が要求されるようになっていきます。

実際の駆除にあたっては、衛生害虫の生息しやすい場所（温度、湿度が高く水や食物がある暗い場所）に駆除剤を繰り返し散布することが効果的です。



をつくるのは

環境衛生週間 9月21日～27日

空かん・たばこの
投げ捨て防止

ごみの散乱は、人に不快感を与え公衆衛生上、多くの問題を生じさせていますが、とりわけ空かんのポイ捨ては大きな社会問題になっています。

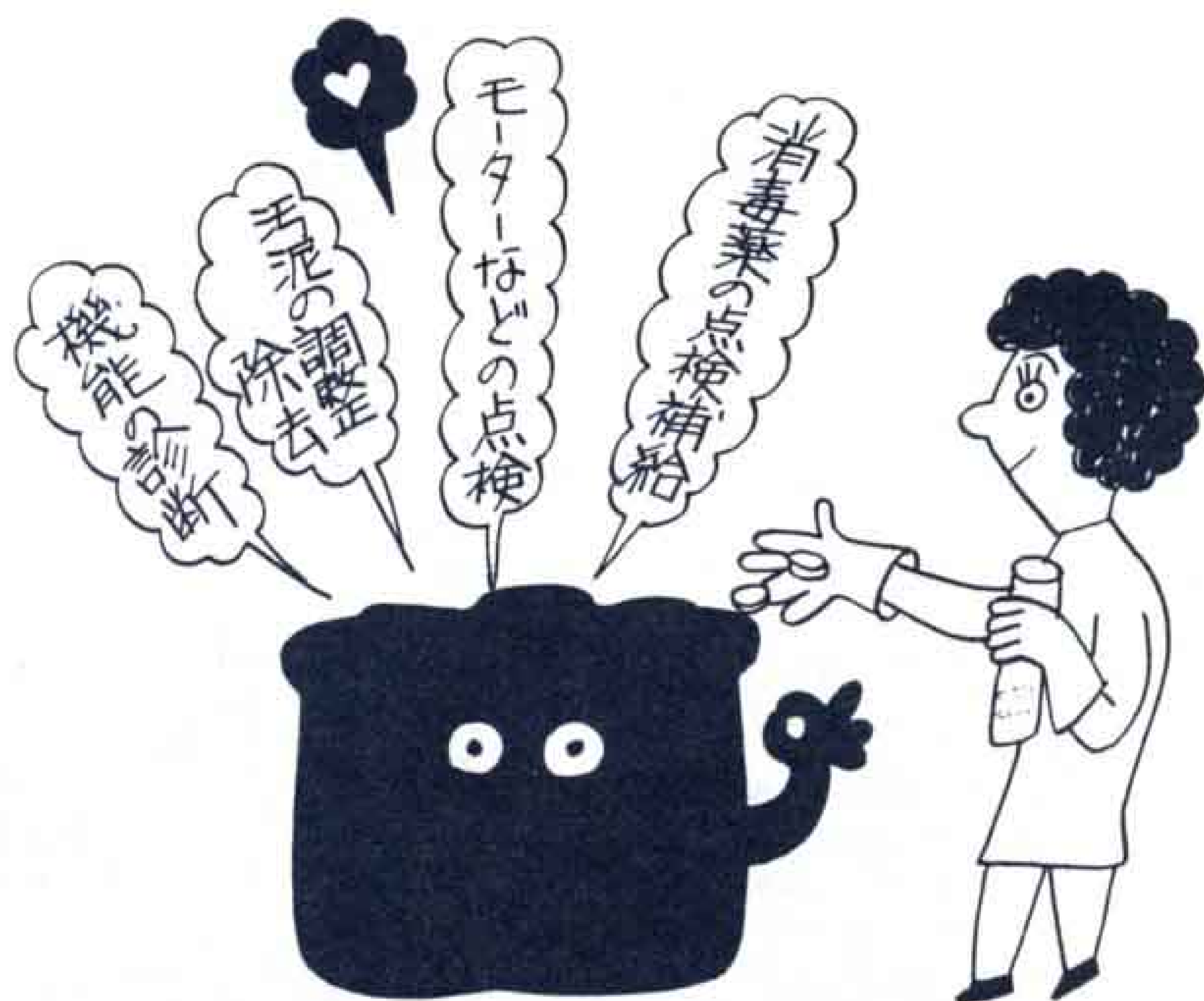
この散乱空かんは、全国で1年間に約10億個も発生し、累積では20～30億個になるだろうと推測されています。

市内でも国道1号バイパス・県道吉原勢子辻線の道路沿い・田子浦・元吉原両海岸・愛鷹登山道といった場所が空かん汚染の危機に瀕しています。

不特定多数の人々が、心なく投げ捨てた空かんは現在、各自治体により様々なアイデアを駆使して回収されたり、少数のボランティアや住民の手で回収されています。

散乱空かんを一掃するためには、やはり一人ひとりが「ごみは投捨てないで持ち帰る」といった心掛けが最も大切なことではないでしょうか。

また、道路に平気で、たばこの吸いがらを捨てる人をよく見かけますが、まちを汚すばかりか火災予防のうえからもやめましょう。



水洗トイレの
排水は大丈夫！

近年、生活水準の向上にともないトイレの水洗化は急激に進んでいます。

なかでも公共下水道が完備していない地区では、し尿浄化槽が水洗化の担い手として活躍しています。

特に、昭和52年以降に設置されたし尿浄化槽は、市内の総設置数（2万基）の半数を超え、これにより市民の約7割が水洗トイレを使用するようになりました。

そこで問題となってくるのが、浄化槽の維持管理です。

浄化槽は、ご存知のとおりバクテリアの生物作用により浄化機能が保たれていますが、誤った使い方をすれば、し尿が未浄化のまま放流されることになります。

家庭排水が河川、湖沼に及ぼす影響は最近では工場排水に匹敵すると言われていています。

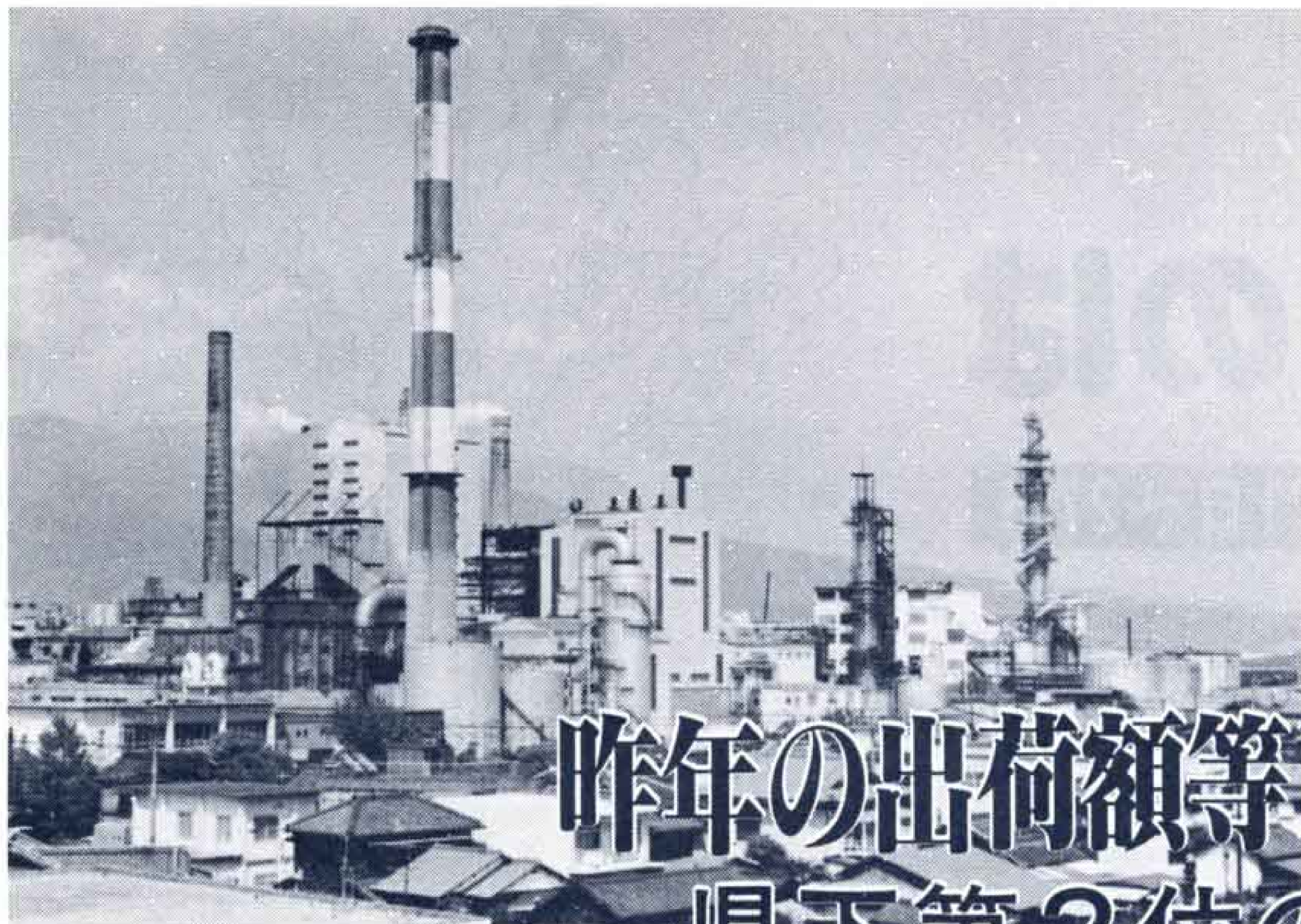
浄化槽の維持管理は法律で設置者に義務づけられていますから、年4～6回の保守点検と年1回程度の清掃は必ず専門業者に委託し、怠りなく実施してください。

みんなできれいなまちを

清潔できれいなまちをつくるには、美化活動と美化意識の醸成が必要とされています。

家庭、周辺の道路、側溝河川などの環境美化は、市民一人ひとりが身近な問

題として取り組み、心と体で実践し、その輪を広げていくことが大切です。富士山にまけない、清潔できれいなまちを、市民と行政が一体となってつくりましょう。

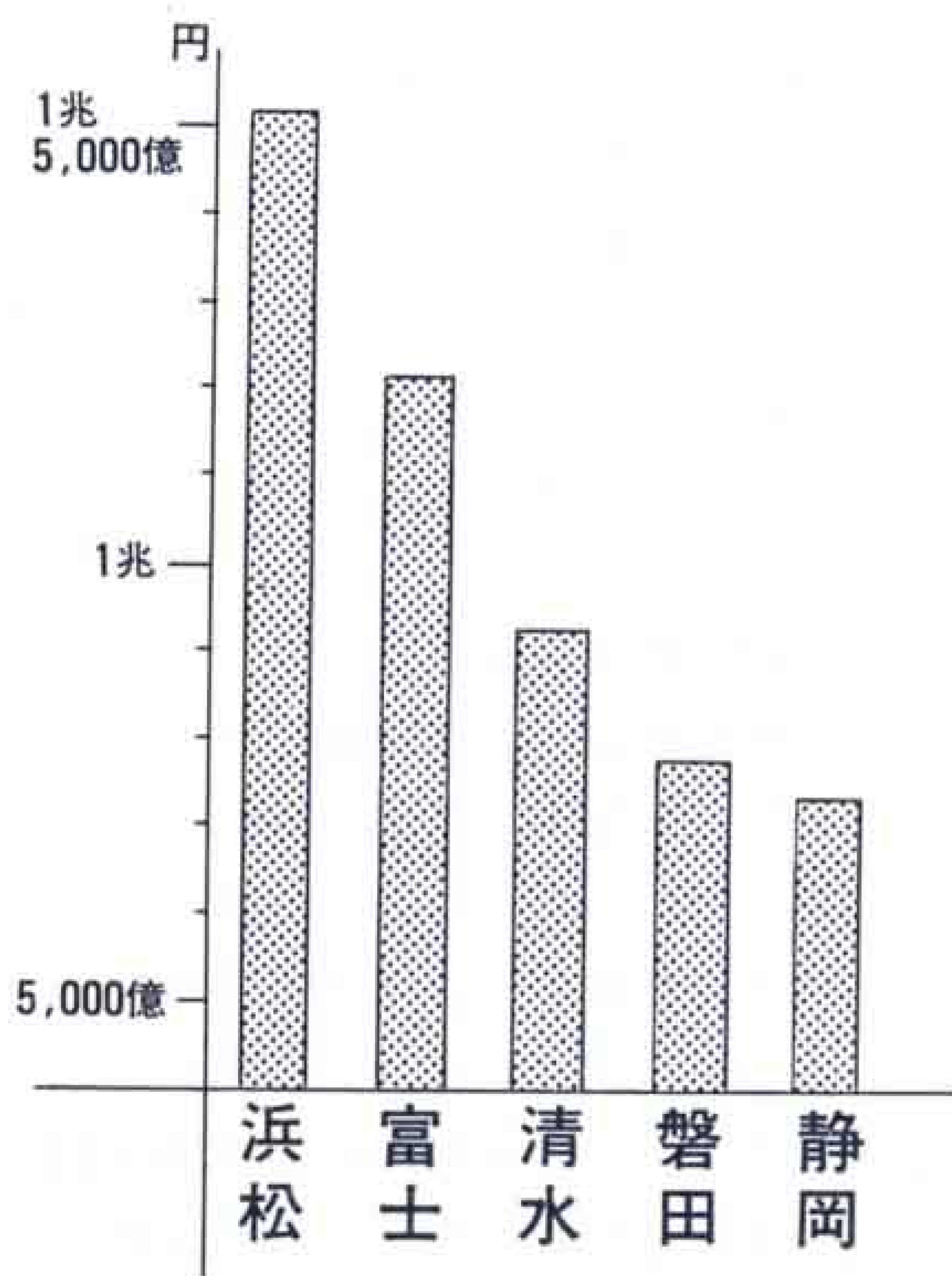


昨年の出荷額等1兆2,023億円 県下第2位の工業都市

昭和57年12月31日現在で実施した「昭和57年工業統計調査」の富士市の概要がまとまりました。

工業都市としてのバロメーターになる製造品出荷額等は、浜松市について県下第2位の1兆2,023億円でした。

なお調査結果の詳細については、後日、「富士市工業統計調査結果」として、別の冊子を編集して公表する予定です。



事業所従業者数は減 製造品出荷額等は増

市内の製造業事業所は、1,676事業所あり、従業者数は4万6,177人、製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)は1兆2,022億7,650万円でした。

これを前年と比較すると、事業所数で6、従業者数で718人減少、しかし、製造品出荷額等は279億607万円増加しました。

また、静岡県下の製造品出荷額等をみると、浜松市の1兆5,014億円が第1位で、県下の総製造品出荷額等の14.3%を占め、次いで富士市の1兆2,023億円(11.4%)、清水市の9,106

億円(8.7%)、磐田市の7,789億円(7.4%)、静岡市の7,134億円(6.8%)の順で、この5市で県全体の48.6%を占めています。

事業所数は1,676

事業所数は、前年より6事業所減少しました。産業別にみると、パルプ・紙が375事業所で最も多く、以下一般機械307、金属製品203、食料品151事業所の順になっています。

前年に比べ増加した産業は、一般機械の12事業所を最高に、金属製品6、その他5事業所、輸送用機械2などで、一方減少した産業は、パル



プロパンガスの安全対策を

(おたずねします) 東海地震にそなえて、今年も九月一日、四日には防災訓練が行われました。

地震で一番こわいといわれているのが火災です。各家庭に置いてあるプロパンガスの安全対策の指導をお願いします。

(一市民)

(おこたえします) 液化石油ガスの保安の確保及び、適正化に関する法律施行規則第二十条第四号により、プロパンボンベは地震でも転倒しないよう、建物に鎖で止めてありますのでバルブを閉めてあればまず安全です。

又、業務用で大量に使用する所は、消防法で届出が定められていますので消防署が検査して安全を確かめています。

各家庭については、消防署員と団員が、年二回、普段はプロパンガス販売業者に転倒防止等について指導をお願いします。

しかし家庭の地震対策は役所だけに任せず、自分の家は自分で守る(自主防)という考え方で、プロパンボンベの転倒防止と、使用しない時のバルブを閉める心掛けが安全対策と考えます。みなさまのご協力をお願いいたします。

(消防本部予防課)

プ・紙11、鉄鋼業7、化学工業5、精密機械3などでした。

従業者数は718人減少

従業者数を産業別にみると、パルプ・紙が1万5,163人(構成比32.8%)を最高に、輸送用機械8,219人(17.8%)、電気機械4,692人(10.2%)、一般機械4,198人(9.1%)の順でした。

従業者が増加した産業は、その他562人と金属製品411人だけでした。

減少した産業は、輸送用機械751人、パルプ・紙469人、精密機械150人、木材・木製品51人、電気機械44人などでした。

製造品出荷額等は279億円の増

製造品出荷額等は、地場産業であるパルプ・紙が4,753億9,061万円(構成比39.5%)と最も多く、次いで、輸送用機械2,029億7,843万円(16.9%)、化学工業1,607億8,985万円(13.4%)、



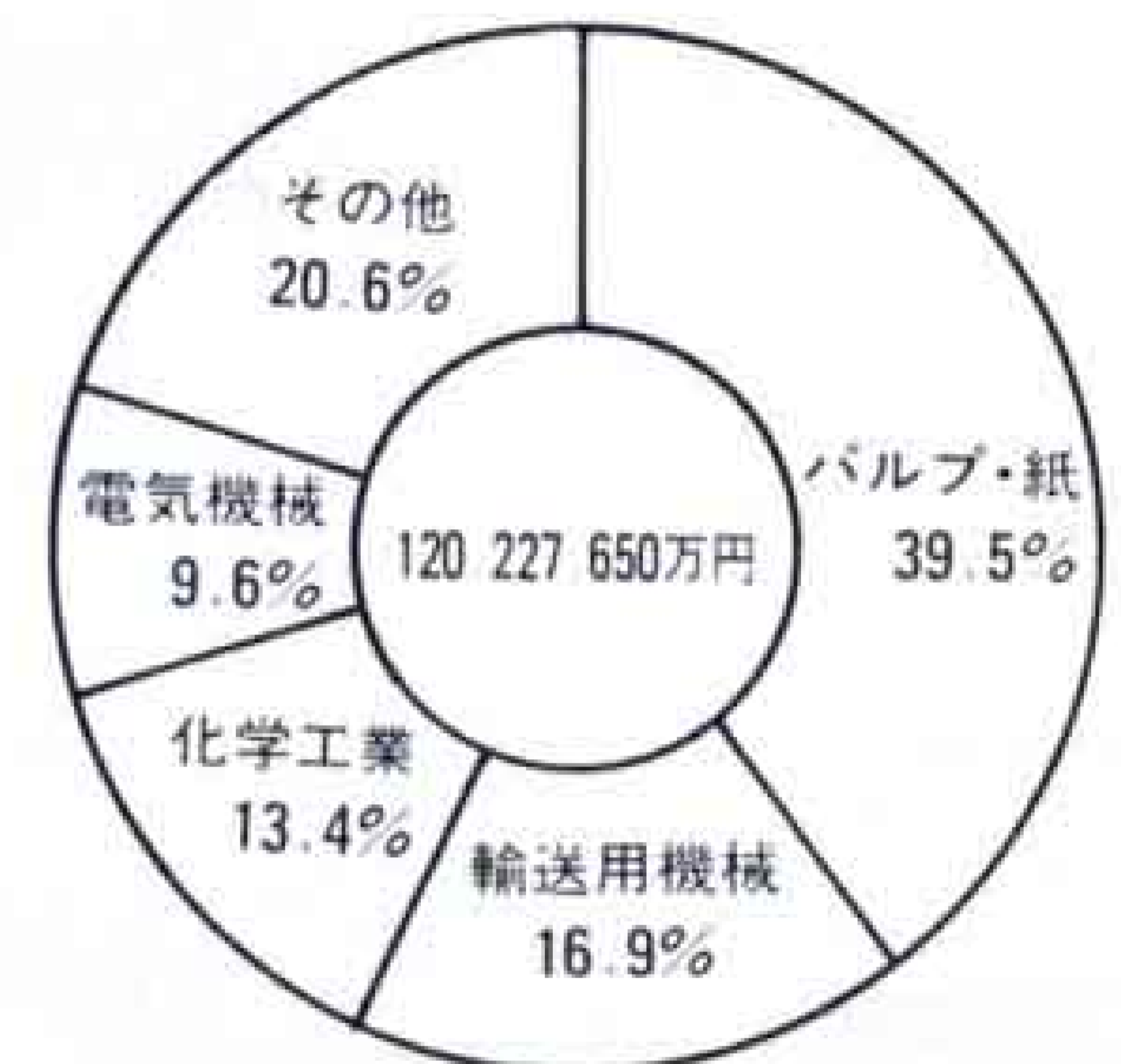
電気機械1,158億4,433万円(9.6%)の順でした。

前年に比べて増加した産業のトップは、電気機械で192億7,368万円、次いでその他180億1,649万円、化学工業117億1,712万円、パルプ・紙81億8,672万円、金属製品40億318万円の順でした。

減少した産業は、輸送用機械284億2,410万円、食料品30億7,924万円、木材・木製品16億1,392万円、精密機

械7億1,776万円、鉄鋼業5億342万円でした。

製造品出荷額等の構成



昭和57年富士市の産業別・事業所数、従業者数、製造品出荷額等

・印は重化学工業、Xは秘匿箇所

(製造品出荷額等については従業者4人以上の事業所)

(昭和57年12月31日現在)

産業別	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	製造品出荷額等(万円)	構成比(%)	化学工業	石油・石炭	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼業	非鉄金属	金属製品	一般機械	電気機械	輸送用機械	精密機械	その他	秘匿欄	
総数	1,676	100.0	46,177	100.0	120,227,650	100.0	18	6	1	30	31	23	203	307	74	101	11	99		
軽工業	902	53.8	21,246	46.0	59,634,367	49.6														
重化学工業	774	46.2	24,931	54.0	60,593,283	50.4	18	6	1	30	31	23	203	307	74	101	11	99		
食料品	151	9.0	1,561	3.4	5,449,005	4.5														
繊維工業	34	2.0	437	1.0	326,155	0.3														
衣服	11	0.7	X	X	X	X														
木材・木製品	76	4.5	548	1.2	512,395	0.4														
家具・装備品	55	3.3	191	0.4	74,822	0.1														
パルプ・紙	375	22.4	15,163	32.8	47,539,061	39.5														
出版・印刷	70	4.2	619	1.3	681,549	0.6														

グループ訪問 68

富士見台

絵画グループ



(もう少しでできあがりだね)

子どもを幼稚園や学校に送り出した後、テレビを見ているよりも、趣味として何かやってみよう。そんな気持ちのお母さんたちが集まってできた絵画のグループ。毎週木曜日の午前中二時間。時間のたつのも忘れてキャンバスに向かう。

吉村欽吾先生の指導のもと、十五人の仲間がめきめき腕をあげ、いまでは市の文化祭、地区の文化祭に積極的に出品している。とはいっても最初からじょうずに画けたわけではなく、長い人は六年も勉強しているという。

「絵画の魅力は一人でどこでもできること。自分の作品が残ること。年齢に関係なくできることでしょう」と吉村先生は話してくれました。

仲間に入りたいた人は、富士見台の北村裕子さん(☎二一―一六七五)まで連絡してください。



△負傷者を救護する日赤奉仕団



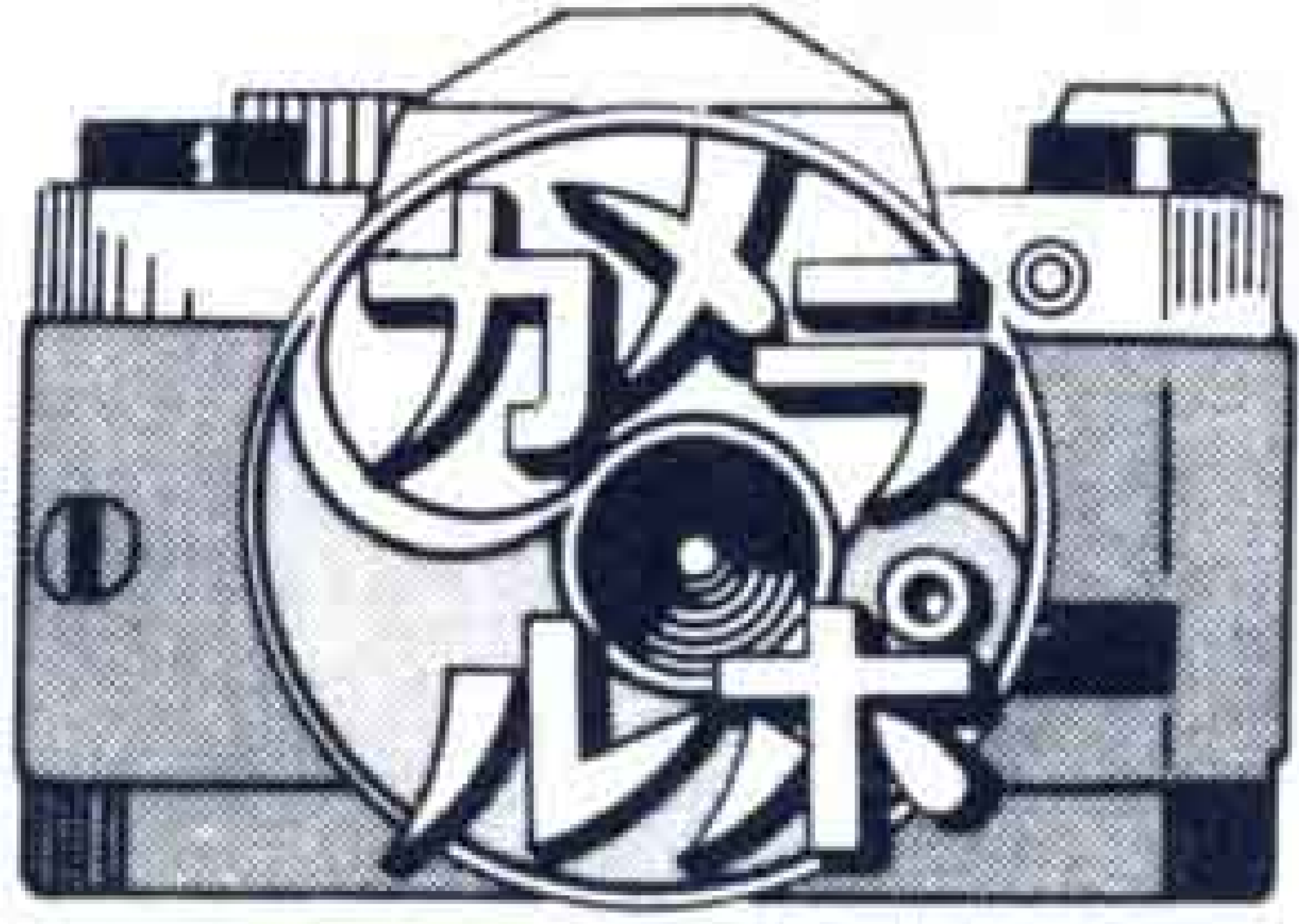
△浄水器で飲料水を確保する少年



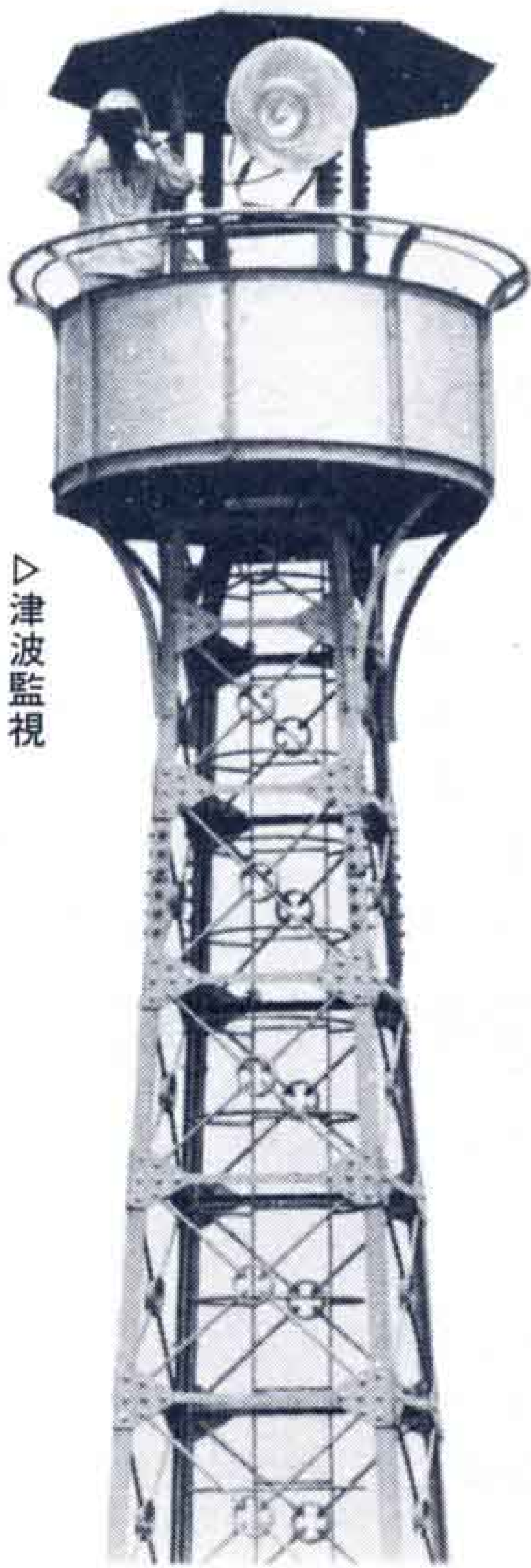
▷渡辺市長が全市民にメッセージ

▽オイルフェンスで油の流失防止訓練





△放水訓練に中学生が活躍



▷津波監視

想定！東海地震が発生

防災訓練に市民十七万二千人が参加

今年の防災訓練は、九月一日の「防災の日」と四日の両日に分かれて行われました。

九月一日は、国・県・市が中心となり、それに学校や幼稚園・保育園を初め公共施設・会社・事業所・自主防災会などから十二万四千人余が参加。

一方四日は自主防災会が中心となつて行う設定となつていましたが、体育祭と重なつた地区が一日に実施したため五十五町内と、その他一般家庭などから三万七千人余が参加して行われました。

訓練は「駿河湾を震源域とするマグニチュード8の地震が発生、このため沿岸一帯に津波が襲来し、各地で山崩れ、家屋の倒壊等が発生し、負傷者が出た。」という想定で、消火活動や救護活動など本番さながらの訓練を行い大きな成果をあげました。



△消火は手前から掃くように…



福祉展を開催

「福祉を育てる県民運動」の一環として、市福祉展を福祉まつり（ふれあい広場）とあわせて開催します。

福祉展は、みなさんが丹精こめて作った作品を多数展示しますのでご覧ください。

- とき 10月16日(日)～20日(木) 16日は10:00～15:00
17日～20日は8:30～16:45
- ところ 市役所2階市民ギャラリー
- 出品物
(1)書画等の部 書、絵画、和歌、俳句、川柳、詩、写真
(2)手芸、工芸の部 木工品、竹細工、藁細工、手芸（編物、ししゅう、染色）、陶器その他の民芸品
(3)盆栽
- 出品申込み 市社会課・福祉事務所内各団体事務局へ10月1日までに申し込んでください。
- 搬入 出品物は10月15日(土)13:00～15:00までに展示会場へ持参してください。
- 搬出 10月21日(金)9:00～12:00までに搬出してください。
- 作品の販売 出品者の希望により作品の予約販売及び即売をします。
- 問合せ先 市社会課 ☎51-0123 内線228

体育の日記念事業

歩け歩け大会

- とき 10月10日(月)
- 集合場所 国鉄吉原駅南口 9:00

- コース 吉原駅南口～石水門の碑、見付跡、阿字神社～富士塚～葉隠塚～台風26号慰霊碑～増田平四郎碑～六王子神社～防潮堤～毘沙門天～吉原駅
- 参加料 無料（ただし保険料100円当日受付へ）
- 申込み・問合せ先
10月7日(金)までに市スポーツ振興課へハガキで申し込んでください。
〒417 市内永田61-1 ☎51-0123内線457

10月の歩く会

- とき 10月16日(日)雨天の場合23日(日)
- ところ 身延山
- 集合場所 富士駅改札口前 8:50
- コース 富士駅～身延駅～身延山久遠寺（昼食）～身延駅～富士駅
- もちもの 弁当、水筒、タオル、雨具外
- 問合せ先 市スポーツ振興課 ☎51-0123 内線457

勤労者文化祭を開催

市内で働く人たちが腕をふるった絵画、写真、書道の力作を出品します。

- とき 10月15日(土)～16日(日)
- ところ パピール4階催事場
- 問合せ先 労働金庫富士支店 ☎61-0808
" 吉原支店 ☎53-2525

新日本フィルハーモニー交響楽団公演

10月21日(金) 18:30 富士文化センター
入場料3,000円(全指定)

入場料は富士文化センター、吉原市民会館、各公民館及び市内プレイガイドで発売中





第1回室内水泳競技選手権大会兼 第17回市スポーツ祭

- とき 11月3日(木) 8:00開会式
- ところ NASスイミングスクール
- 参加資格 富士、富士宮在住、在勤、在学者で小学生、中学生、高校生、一般
- 種目 小学生(男女共)
 - 25㍍(1、2年生)自由、平泳
 - 50㍍(4年生以下)自由、平泳、背泳、バタフライ
 - 50㍍(5年生以上) "
 - 100㍍(5年生以上)自由、平泳、背泳
 - 200㍍リレー、メドレーリレー
- 中学生(男女共)
 - 50㍍ 自由、平泳、背泳、バタフライ
 - 100㍍ "
 - 200㍍ リレー、メドレーリレー
- 高校生(男女共)
 - 100㍍ 自由、平泳、背泳、バタフライ
 - 200㍍ リレー
- 一般(男女共)
 - 25㍍(30歳未満)自由、平泳、背泳、バタフライ
 - 50㍍(") "
 - 25㍍(30~40歳未満)自由、平泳、背泳
 - 50㍍(") "
 - 25㍍(40歳以上)自由、平泳、背泳
 - 200㍍ リレー(事業所対抗)
- 出場制限 1人2種目以内、リレーは各所属2チームまでとする。
全種目タイムレースとする。
当日の参加申込みは受付けない。
- 申込み先 参加者名簿を作成し参加料1種目300円を添えて市内本市場126 佐野家弘宛(☎61-2274)へ申込んでください。
※一般個人の部で出場する人は氏名、住所、年齢、性別、種目、連絡先をハガキに明記して申込んでください。
- 申込み期限 10月15日(土) 16:00必着のこと
- 問合せ先 市スポーツ振興課 ☎51-0123内線457

第17回市総合文化祭を開催

第17回市総合文化祭を次のとおり開催します。発表や展示などを希望する人はお申し出ください。

- 吉原市民会館
 - 11月4日(金)~6日(日) 華道、工芸、ペン
 - 3日(木) 民踊 4日(金) 詩吟
 - 5日(土) 民踊 6日(日) 邦楽、音楽、茶道

- 富士文化センター
 - 10月28日(金)~30日(日) 毛筆、水石、フラワーデザイン、盆栽
 - 28日(金) 民謡 29日(土) 演劇
 - 30日(日) 音楽、茶道
- 鷹岡公民館
 - 10月30日(日) 謡曲 11月5日(土) 8ミリ映画
 - 11月6日(日) 短歌
- 歴史民俗資料館(旧松永家住宅)
 - 11月6日(日) 川柳
- ヤオハン吉原店催事場
 - 11月3日(木)~9日(水) 写真
- パピー催事場
 - 11月9日(水)~14日(月) 美術
- 連絡先 市文化振興課 ☎51-0123 内線610

陸上百㍍で日本一

田子浦中の土屋美緒さん



田子浦中学1年生の土屋美緒さんが、先日東京国立競技場で行われた「第10回全日本中学校陸上競技選手権大会」の1年女子100㍍で12秒89を記録。見事全国第1位に輝きました。

小学校4年生の時からはじめた陸上競技。中学入学後も田子浦中陸上部顧問の河野政男先生の指導のもと、毎日練習を続け力をつけてきました。

その結果、全国大会の県予選で自己最高の12秒6をマークし、本人もびっくりしたと同時に自信がついていたのが、日本一という好成績につながりました。

美緒さんは、10月に行われる予定のジュニアオリンピック大会の優勝を目指して今日も汗を流しています。

ご存知ですか “くすりの110番”

県薬剤師会では、薬の成分、副作用、使い方などをアドバイスしています。薬のことならなんでもご相談ください。

- ◇利用時間
 - 平日 9:00~17:00
 - 土曜日9:00~12:00

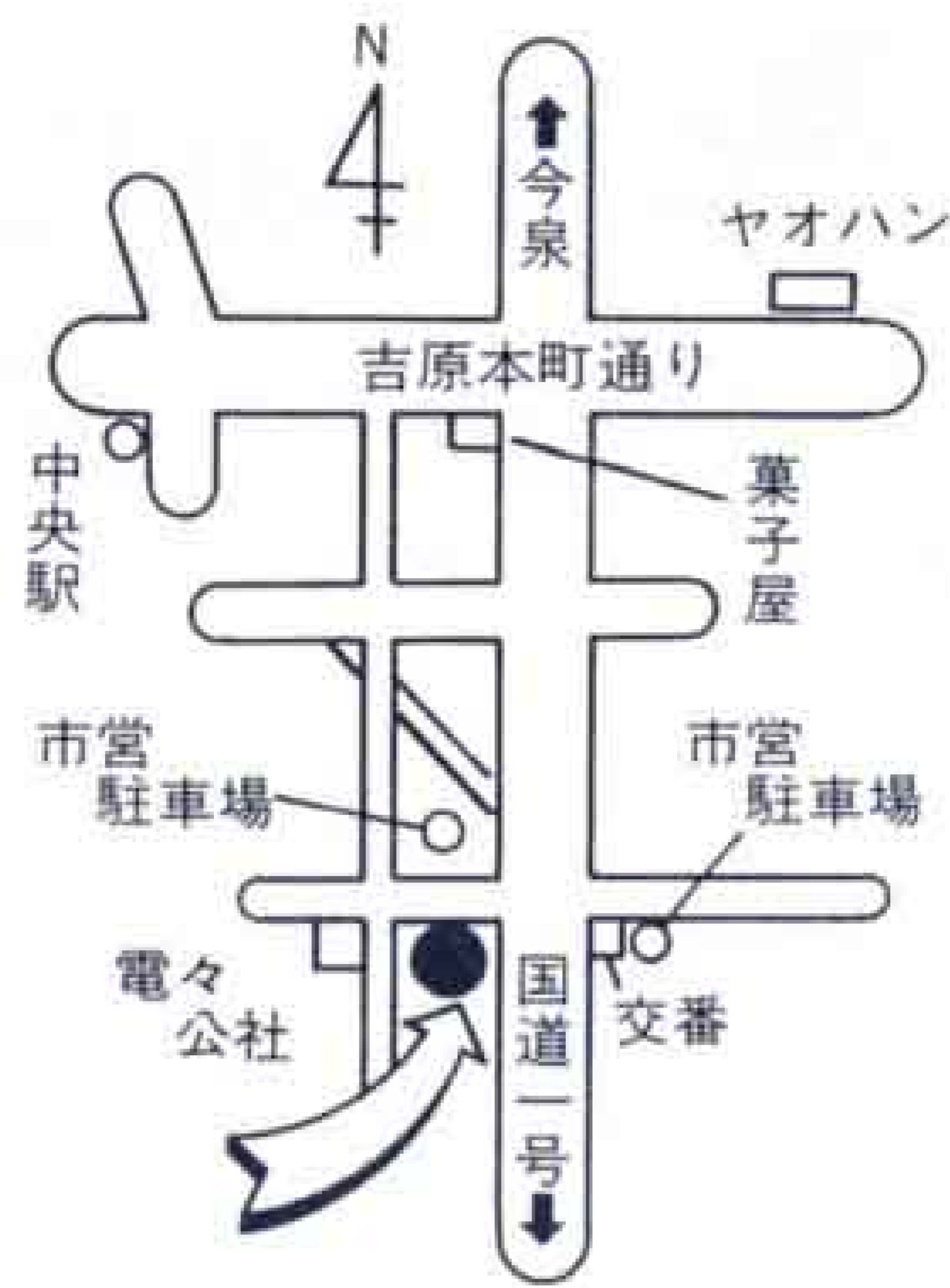
- ◇問合せ先
 - 静岡市東鷹匠町
 - 4-32白井ビル
 - 県薬剤師会医薬品情報管理センター
 - ☎0542-47-6811





吉原市民会館

御幸町1番1号 ☎52-0740



吉原市民会館は、吉原中央駅から東へ向かって徒歩で5分。ほぼ市の中心部に位置し、昭和31年1月に開館しました。

開館以来、先号で紹介した富士文化センター同様、市民の文化・教養の場として、音楽会や展示会、講演など各種の文化事業、会合などに広く利用され、年間約20万人の市民が利用しています。

放送・照明設備の整った1,164人収容できる大ホールと10人から200人

まで利用できる大小6つの会議室、20畳敷の和室があります。

この施設は結婚式場としても、市民に親しまれてきましたが、昭和51年に結婚式場の営業は閉じました。

現在、市民会館自主文化事業として、音楽会や歌舞伎など各種の公演を開いています。

◇使用申込み方法

使用日の6ヵ月前から受付

◇休館日

毎月第1・3日曜日

薬草のおはなし⑨

薬草名 ゲンノショウコ

生薬名 ゲンノショウコ

薬効 下痢、便秘、整腸

高血圧予防、婦人血の道



山野の路傍にどこでも見られる多年草。茎は半ば立ち大部分は地をはって茎、葉ともに毛が多い。毛が茎に直角に生えているので毒草と区別できます。

夏から秋にかけて5弁の白い花や紅色の花盛りに、全草を採取して水洗いして陰干しにする。

古くから下痢止めの妙薬として煎じて服用。便通、整腸にも効果がある。お茶がわりに飲むと高血圧予防、婦人血の道によい。

学校自慢

岳陽中学校



校風



三年生
飯野亜珠抄さん

校歌が流れ出す。学校全体が静まり返る。教室、廊下、グラウンド、どこにいてもすべての生徒、先生方が掲揚台に注目する。略校旗と生徒会旗がポールを上がる光景を見ながら、生徒は今日一日の目標をたてる。こうして岳陽中的一天がスタートする。これは毎日行われ、我が校の伝統であり自慢できることのひとつだ。そして我が校には「快いあいさつ」「一分前行動」「無言清掃」という三つの約束がある。生徒会では一分前行動100%達成をめざし、強化週間を設けるなどして頑張っている。部活動もたいへん活発で、運動部、文化部共に毎年優秀な成績をあげている。岳陽中は今年、創立十周年を迎えた。ひとつの節目となる大切な年として、生徒も先生方も一丸となってよりよい校風づくりに励んでいる。